



# セネガル国月報

2015年12月  
在セネガル国大使館



## 主な出来事

### 【内政】

- サル大統領は、年末の国民向けスピーチにおいて、2016年のインフラ計画を発表した。主な内容は、ダカール～ジャムニャジョ～ブレーズ・ジャーニュ新空港間を片道45分で結ぶ地方特急線の建設、ルーガ州ギエール湖の貯水槽(2,550億FCFA)及びダカール市マメル地区の海水淡水化施設(1,350億FCFA)の建設及びダカール市スンベジウム地区及びヨフ地区の零細漁業用港の拡大工事。

### 【外政】

- 11日、サル大統領は、サウジアラビアがイスラム国などのテロ組織に対抗するために結成したイスラム軍事連合にセネガルも参加する旨合意した。
- 16日、ナイジェリアのアブジャで行われたECOWAS首脳年次会議において、サル大統領はECOWAS諸国の国民は資金集めのために団結し、インドと中国に対してECOWAS諸国の広域案件のプロジェクトを要請するべきである旨発言した。また、同会議において、女性の自爆テロ等に対する防止対策として、ECOWAS諸国におけるブルカの着用を禁止することが決定された。

### 【経済】

- 29日、バ経済・財政・計画大臣は、2015年のGDP成長率は、農業サブセクターにおける適切な政策の採択、年間降水量の増加及び第二次産業の活性化により牽引され、当初予測の5.4%を上回る6.4%になる見通しである旨発言した。

### 【内政】

#### (1)ラミン・ジャック前国際陸上連盟(IAAF)会長の不正事件

- 18日、仏紙ル・モンドは、ロシア陸上選手のドーピング問題に関与したとして取調べを受けていたラミン・ジャック国際陸上連盟(IAAF)の前会長は、事実を隠蔽する代わりに受け取った150万ユーロを2012年のセネガル大統領選において、サル大統領の選挙資金の支援に充てた旨供述したと報じた(19日 Seneweb)。
- 21日、ラミン・ジャック前国際陸上連盟(IAAF)会長の不正事件に関して、虚実発言をした容疑で、ウマル・サール・ナショナル・コーディネイター兼ダガナ市長がルボス刑務所に勾留された。また、同件に関し報道を行ったジャーナリスト3名が犯罪捜査局において事情聴取を受けた後、当日中に釈放された(22日 Le Soleil)。

#### (2)サル大統領による年末恒例国民向けスピーチ

- サル大統領は、年末の国民向けスピーチにおいて、2016年のインフラ計画を発表した。主な内容は、ダカール～ジャムニャジョ～ブレーズ・ジャーニュ新空港間を片道45分で結ぶ地方特急線の建設、ルーガ州ギエール湖の貯水槽(2,550億FCFA)及びダカール市マメル地区の海水淡水化施設(当館注:円借款検討中

の案件) (1,350 億 FCFA) の建設及びダカール市スンベジウム地区及びヨフ地区の零細漁業用港の拡大工事。また、サル大統領は、同スピーチにおいて家族補助金の対象を 30 万人とすること及びカザマンス紛争の解決についても言及した(2 日 SudQuotidien) (往電第 41 号)。

- サル大統領は、地方行政機関及び地方発展の促進のため地方高等評議会を設置する旨発表した(2 日 LeQuotidien)。
- サル大統領は 2012 年の大統領選挙時に公約した大統領任期の短縮(現行の 7 年から 5 年へ)について言及した(31 日 APS)。

### (3) 国内テロ対策

- 8日、ジャロ内務・公安大臣は、国民議会においてテロ対策のため、憲兵隊と警察を統一する内容を含む国内治安に関する新しい法案を検討中である旨発言した。また、テロの脅威がある現状に鑑みて、年末の花火を規制若しくは禁止する旨発表し、公共の場における年末の祭りやお祝いは、セネガル政府の許可を得ることが義務付けられる旨発言した(9日 Walfadjiri, Sud Quotidien)。

## 【外政】

### (1) 気候変動枠組み条約第 21 回締約国会議(COP21)

- 11月30日～12月11日までフランスにおいて開催されたCOP21に、各国から100人以上の首脳が集まり、セネガルからはサル大統領がマリエムファイ大統領夫人、タノール・ジェン大統領府国务大臣及びファイ水力・衛生大臣が参加した(28日 APS)。
- 2日、COP21において、フランス開発公社(AFD)は、総額367億FCFA(約56百万ユーロ)のピキン市の洪水対策に対し、328億FCFA(約50百万ユーロ)のソブリン融資に合意し、モワンビル AFD 次長とバ経済・財政・計画大臣が署名を行った(3日 Le Soleil)。
- 7日、COP21において、セネガル、EU、フランス、及びドイツは、2017年にセネガルにおける電力供給量の20%を再生エネルギーによってまかなう旨の議定書に署名を行った。現在、太陽エネルギーによって175MW、また風力によって150MWの電力供給を目指すプロジェクトが進行中である(8日 Le Soleil)。

### (2) イスラム軍事連合へのセネガルの参加

- 11日、サル大統領は、サウジアラビアがイスラム国などのテロ組織に対抗するために結成したイスラム軍事連合にセネガルも参加する旨合意した。同連合は、イラン及びイラクを含まないイスラム教の多い国34か国が参加しており、アフリカの参加国は、チャド、トーゴ、シエラレオネ、ガボン、ギニア、コートジボワール、マリ、ニジェール、ナイジェリア等(16日 Sud Quotidien)。

### (3) 第48回 ECOWAS 年次首脳会議

- 16日、ナイジェリアのアブジャで行われた ECOWAS 年次首脳会議において、サル大統領は、ECOWAS 諸

国の国民は、インドと中国に ECOWAS 諸国の広域案件のプロジェクト支援を要請するため団結すべきである旨発言した(17日 APS)。

- 同会議において、女性による自爆テロ等の防止対策として、ECOWAS 諸国におけるブルカの着用を禁止することが決定された(18日 Observateur)。

#### (4)その他

- 23日、サル大統領夫妻は交通事故死したアジズ大統領の子息の追悼のためモーリタニアのヌアクショットを訪問した(23日 PANA)。
- 28日、2014年6月にセネガルとポルトガル間で署名された二重課税の回避及び脱税の防止協定に関し、大統領が批准する権利を認める法案が国民議会で可決された。セネガルとイギリス連邦間及びセネガルと北アイルランド間の協定に関して同様の法案が可決された(29日 SudQuotidien)。

### 【経済】

#### (1)2015年度 GDP 成長率予測

- 29日、バ経済・財政・計画大臣は、2015年のGDP成長率は、農業サブセクターにおける適切な政策の採択、年間降水量の増加及び第二次産業の活性化により牽引され、当初予測の5.4%を上回る6.4%になる見通しである旨発言した(30日 SudQuotidien)。

#### (2)経済協力

- 18日、セック農業・農村施設省次官と当館の佐藤書記官は、日本の貧困農民支援で到着した肥料の引渡し式に出席した。約20億FCFA分に相当する8,000トンの肥料は、サンレイ、マタム等、気候の変化を受けやすい地域にて活用される(19日 Sud Quotidien)。
- 21日、ティエス州ンブール県のンパガル港において日本支援による同港及びポワント・サレン港の整備計画(4億千万FCFA)の起工式が行われ、ゲイ漁業・海洋経済大臣及び加藤 JICA セネガル事務所長が参加した(23～25日 LeSoleil)。
- 22日、カン・インフラ・陸上運輸・交通整備大臣と中国の国際鉄道建設会社は12億5,697万米ドルのダカール・キジラ間の鉄道改修にかかる契約を締結した。本契約は、中国が返済期間30年で利子率最大2%の条件で融資を行う。総額の15%分(1億8,854万米ドル)は国内企業が受注する予定(23～25日 Walfadjiri)。
- 22日、バ経済・財政・計画大臣とドイツ政府は180億FCFAの再生可能エネルギー促進計画に合意した。再生可能エネルギー分野における過去3年間のドイツのセネガル支援総額は800億FCFAに上る(23～25日 Walfadjiri)。

### (3)その他

- 6日から7日にかけて、バマコにおいてマリ及びセネガルの交通の財政担当者が会合を行い、2国間の鉄道の管理を委託していた Transrail の経営状況悪化を理由に、同社との契約を解消する旨決定した。なお、鉄道の運営は継続していく方針で、両国間で調整を進めている(18日 Le Temoin)。

### 【その他】

- 8日、当地日刊紙ソレイユと中国国際放送はメディアコンテンツを共有する協力協定に署名を行った(9日 Le Soleil)。
- 9日、日本大使公邸で開催された天皇誕生日レセプションにおいて、北原駐セネガル日本国大使は、ECOWAS 及び NEPAD 議長としてのサル大統領のサブサハラの問題解決に対する積極的な取組みに感謝し、セネガルは民主主義のモデルとして必要とされている国である旨述べた。また、同大使は2016年はG4である日本とC10のセネガルが安保理の非常任理事国入りをするにあたり、ますます協働していく機会が増えるであろう旨発言し、同スピーチにおいてドウドウ・ンジャイ・ローズ氏の死に対する追悼の意を表した(17日 Le Soleil)。
- 子供のための俳句コンクールを2年に一度開催している日本のJAL財団は、第14回世界子供俳句コンテストをサンゴール財団に委託した。なお、今年は「朝」をテーマとし、2016年2月15日時点で15歳以下の子供を応募対象とする。最終選考の発表はJAL財団によって2016年6月に行われる(16日 APS)。
- 16日、国連開発計画(UNDP)が「人間開発指数 (Indice de développement humain (Idh))」の2015年のランキングを発表した。セネガルは188カ国中170位となり、去年の163位より7位順位を下げた(28日 Le Soleil)。
- スペインの公的研究機関 National Research Council(CSIC)が制作するサイト「Webometrics」で世界の病院ランキングが発表され、ダカールのプランシパル病院がアフリカ内で30位に選ばれた。同病院とナイジェリアの病院が西アフリカからはランクイン入りした(28日 Le Quotidien)。

(注)「セネガル月報」は、セネガルの報道を当館限りでまとめたものです。記事内容は、日本政府やセネガル政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。(了)